

## 平成31年 市職員への年頭訓示

みなさん、新年明けまして、おめでとうございます。

新しい年を、皆さんも清々しい気持ちで、迎えられたことと思います。

さて、今年の3月12日で木津川市が誕生し丸12年を迎えます。

この12年間、無事に市政を進めてこられましたのも、職員の皆さんが、それぞれの持ち場で力を合わせて職務に取り組んでいただいたお陰と、大変感謝をいたしております。

この12年を振り返りますと、新市木津川市の礎を築くために、新庁舎の完成をはじめ、長年の懸案でありました環境の森センターの稼働、関西文化学術研究都市の発展、特に城山台地区の街びらき、そして新設小中学校の開校、また避難所でもあります小中学校の耐震改修や、民間保育園の誘致によります待機児童対策など、多くの課題に職員の皆さんとともに一丸となって取り組んでまいりました。

また、市の活力の創造に向けた企業誘致や市の魅力発信にも取り組んできたところです。

特に恭仁宮跡をはじめ、社寺の魅力発信や木津川アートの開催などによりまして木津川市の知名度の向上に大きく寄与したものと考えております。

一方で、事業仕分けや国保税の統一、水道料金の見直しなど行財政改革の推進による経費節減の取り組み、また、職員の皆さんにも給与の削減という厳しいお願いもさせていただきました。

合併算定替逋減対策基金の積み立てなども行いましたが、合併算定替えを乗り越えるには、更なる行財政改革に取り組み、健全な財政のまちを子や孫の世代につなげていくことが、私たちの責務と考えています。

管理職の皆さんには、社会の動きや市内の様々な状況を的確に把握し、中

期、長期の視点を持って日々の職務に取り組んでいただきたいと思います。

また、皆さんが培ってこられました経験や市の状況などを、次代を担う職員に伝えるなど、人材育成にも取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、昨日も熊本で大きな地震が発生いたしました。去年は、大阪北部地震や台風等の災害対応が多く、職員の皆さんにも市内の対応のみならず福知山市への災害支援など相当の負担であったものと考えますが、このような経験を万一の災害のときに市民の皆様の安心安全のために活かしていただきたいと考えています。

そして、この度、木津川市が、平成30年度大規模自然災害等の被災地域支援活動に対しまして災害対応支援環境大臣表彰を受賞いたしましたのでご報告させていただきます。

今年、亥年です。

十二支を植物の一生に例えますと、成年でたわわに果実が実り、そして種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするということから、「次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年」という言われがあるそうです。

木津川市も、今年、中学生の年齢となります。

大人に向かってより一層成長できるよう努力していきましょう。よろしくお願いいたします。

結びに、皆さんにとりまして、今年一年、健康で幸多い年になりますように、そして、木津川市の更なる飛躍を祈念いたしまして、年頭の訓示といたします。

平成31年1月4日

木津川市長 河井 規子